

より望ましい自主勉強の習慣づくりを目指して 高松小

1 習慣づけるには、家庭の協力が重要です!

(1) 毎日一定の時間、一定量の分量をこなすことが、習慣づけの基本です。

時間のめやす

低学年 10分以上	中学年 20分以上	高学年 30分以上
--------------	--------------	--------------

※ 宿題以外の自主勉強の時間のめやすです。

(2) 子どもが学習した「家庭学習ノート」に必ず目を通し、できるだけコメント（一言チェック）やメッセージを書き励ましましょう。「ほめ言葉」が、子どものやる気につながります。

「見届け」と「励まし・ほめ言葉」が大切!

(3) 家庭で丸をつけ、直しを行い学校へもってきましょう。

(4) 集中して勉強できるように、子どもが学習するときにはテレビを消しましょう。

(子どものテレビ視聴時間とゲーム時間は、合わせて1日1時間以内にしましょう!)

(5) 勉強する場所を決め、必要なものだけ机に置くように整えましょう。

(6) 勉強が終わったら、次の日の準備をしましょう。

2 どんなことを学習させればよいのか?

- 1 宿題が出たら、まず宿題をきちんと行う。
- 2 自主勉強は、「今日のめあて」を決め、「ふり返り」も行う。
- 3 その日に習った内容や、テスト・教科書で間違った問題(特に、文章問題)を復習し、自分なりにノートにまとめる。(算数は、問題づくりなども行ってみる。)
- 4 ドリル等を使って漢字の読み書きや計算の反復練習を行う。計算ドリルは、学年に応じて自分で答え合わせをする。(答え合わせをしたら、必ずお家の人に見てもらう。)
- 5 音読は、全学年で実施し、とくに、1・2年生は、句読点に気をつけて、内容を理解しながらはっきりした声で音読をする。(音読は お家の人に聞かせる。)
- 6 1・2年は、教科書の書写や、日記・作文・感想文などの短文作りを行う。
- 7 3年以上は、辞書を使って言葉の意味を調べ、漢字を使って短文作りを行う。
- 8 3年以上は、理科や社会、総合などで習ったことについて、自分なりにまとめる。
- 9 3年以上は、多様な資料(新聞記事、科学雑誌、本、インターネット等)などから自分で課題を見つけ、感想や疑問、自分の考えを決められた字数でまとめる。
- 10 家庭でも読書を行う。

3 取り組んでほしい学習内容

次の項目の中から、学習の進度に応じて家庭学習の内容を選択します。

1年生

- 1 鉛筆を正しく持ち、ていねいに字を書く。
- 2 口をはっきり開けて、毎日音読をする。(音読カード利用)
- 3 繰り上がりのあるたし算、くり下がりのあるひき算の練習をする。
- 4 1年生の配当漢字(80字)の習った漢字の読み書きをする。
- 5 助詞(は、へ、を)を使って文を書く。
- 6 拗音(きゃ、きゅ、きょなど)、促音(っ、ツのつまる音)、長音(おとうさんなど)を使った言葉集めをする。
- 7 カタカナの読み書きをする。
- 8 時計の読みを練習する。

2年生

- 1 既習漢字と2年生の配当漢字(160字)をすべて読み、短文を書く。
- 2 かけ算九九(上がり九九・下がり九九・バラバラ九九)を暗唱し、かけ算の問題を解く。
- 3 2けたのたし算・ひき算の筆算を、ドリルを使って練習をする。
- 4 たし算、ひき算、かけ算の意味を確かめ、文章問題を作る。
- 5 助詞(は、へ、を)を使い分けて、短文を書く。
- 6 時計の読み方や定規の使い方の練習をする。
- 7 「思ったことや感じたことをあらわすことば」を用いた短文を書く。
- 8 口をはっきり開けて、毎日音読をする。(音読カード利用)

3年生

- 1 既習漢字と3年生の配当漢字(200字)をすべて読み、短文を書く。
- 2 内容のまとまりを考えて、作文や日記を決められた字数で書く。
- 3 かけ算の筆算や3けたのたし算・ひき算をドリルを使って練習をする。
- 4 あまりのあるわり算を、ドリルを使って練習をする。
- 5 たし算、ひき算、かけ算、わり算の意味を確かめ、文章題を作る。
- 6 国語辞典を引いて言葉を調べ、短文を書く。
- 7 ローマ字を適切に読み、身の回りの物などの名前を書く。
- 8 小数のたし算・ひき算をドリルを使って練習をする。
- 9 口をはっきり開けて、毎日音読をする。(音読カード利用)

4年生

- 1 既習漢字と4年生の配当漢字（202字）をすべて読み、短文を書く。
- 2 指示語や接続語を適切に使い、まとまりやつながりに注意して短文を書く。
- 3 国語辞典・漢字辞典を引いて言葉を調べ、短文を書く。
- 4 わり算の筆算を、ドリルを使って練習をする。
- 5 たし算、ひき算、かけ算、わり算の意味を確かめ、文章題を作る。
- 6 小数のかけ算・わり算をドリルを使って練習をする。
- 7 地図帳を使って地名や場所を調べ白地図にまとめる。
- 8 口をはっきり開けて、毎日音読をする。（音読カード利用）

5年生

- 1 既習漢字と5年生の配当漢字（193字）をすべて読み、短文を書く。
- 2 敬語の種類と使い方を確かめ、短文を作る。
- 3 ドリルを使って、小数・分数のかけ算・わり算の練習をする。
- 4 通分・約分の仕方の意味を確かめ、問題を解く。
- 5 整数の性質（倍数・約数・素数）の意味を確かめ、問題を解く。
- 6 47都道府県の位置を調べ白地図にまとめ、正しく漢字で書く。
- 7 理科の実験道具の正しい名称や扱い方を調べ、イラストや文章でまとめる。
- 8 理科や社会で習ったことを、グラフや表を使ってまとめる。
- 9 新聞やインターネット、本、雑誌の記事をノートに貼り、感想や意見を書く。
- 10 口をはっきり開けて、毎日音読をする。（音読カード利用）

6年生

- 1 小学生で学習する漢字（1,026字）をすべて読み、短文を書く。
6年生の配当漢字（191字）
- 2 主語、述語、修飾語を適切に使って文章を書く。
- 3 ドリルを使って、小数・分数のたし算・ひき算、かけ算・わり算の練習をする。
- 4 「割合」「比例」「速さ」「百分率」の意味を確かめ、問題を解く。
- 5 「小数」「分数」「比例」「速さ」「割合」「百分率」などの、文章題を作る。
- 6 日本の歴史の流れを確かめ、主な人物や出来事を説明する。
- 7 日本の政治のしくみや日本国憲法について調べ、まとめる。
- 8 理科で学習した内容を、グラフや表を使ってまとめる。
- 9 新聞やインターネット、本、雑誌の記事をノートに貼り、意見文を書く。